

歴まちワークショップ ニュースレター

No.4

令和2年3月1日

編集・発行

桐生市 都市整備部
都市計画課 歴史まちづくり係

第3回歴史まちづくりワークショップを開催しました

桐生市では、「桐生市歴史的風致維持向上計画」に基づく施策の一環として、桐生が岡公園から重伝建地区周辺への回遊性を向上し、歴史まちづくりにつなげるためにはどうしたら良いかを検討するための「歴史まちづくりワークショップ」を、昨年11月以来、3回にわたって開催してきました。

最終回となる第3回ワークショップは、2月15日(土)午前9時から旧細谷家住宅(横山町)において開催され、地域にお住いの皆様ほか22名の方にご参加頂きました。

今号では、第3回ワークショップの様子を紹介し、No.5(4月1日発行予定)では、第3回で出た主な意見を紹介します。



広場周辺の樹木について
説明する齋藤園長



協議の様子



各班の成果発表

第3回ワークショップの協議内容

冒頭に、前回のワークショップの成果の振り返りや、桐生が岡動物園の齋藤隆浩園長より対象地域周辺の樹木や植生について紹介がありました。その後のワークショップは、「①藤棚広場と周辺の将来像」「②歴史まちづくりの方向性」の2つのテーマで行いました。

テーマ①では、施設や樹木の写真が描かれたパーツを、藤棚広場やその周辺の白図上に貼りながら、広場の使い方や配置について協議しました。限られた時間の中で、各班の参加者は活発に意見交換をしながら、広場の将来像を描いていました。

続くテーマ②では、過去2回のワーク

ショップで出た意見や、テーマ①で協議した内容について、「すぐにやること」と「条件が整えば実現をめざすこと」に仕分けをしました。



ワークショップで作成した藤棚広場周辺の将来像(詳しい内容は次号で紹介します)